



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かっぱ やりぬく子

南条小学校だより
H30.11.15 No. 43

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



○ 2, 4, 6年 南条郡教育研究会授業公開

11月13日(火)に、本校2年1組(道徳科)、4年1組(道徳科)、6年2組(外国語科)で南条郡教育研究会の授業公開を行いました。南条郡の小中学校の先生約90名の先生に授業を見てもらいました。各学級に30名の先生が来られましたが、子どもたちは緊張しながらも活発に意見を発したり活動したりしていました。



2年1組(道徳科)



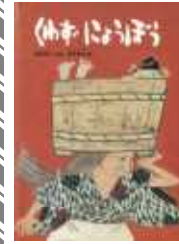
4年1組(道徳科)



6年2組(外国語科)

○ 3年生 ブックトーク

11月14日(水)に、南条図書館の司書さんに来ていただき、ブックトークを行いました。「こわいもの なあに?」というテーマでおすすめの本を紹介してくださいました。司書さんの上手な話を真剣に聴いており、休み時間には早速紹介された本を読み始める児童もいました。



くわずによぼう

出版社: 福音館書店、稲田 和子/再話、赤羽 末吉/画

欲張り男のところに、よく働くが飯を食わない美しい女がやってきて女房になりました。最初は喜んだ男でしたが、ある日、蔵の米がごっそり減っているの、隠れて見ていると、女房は男の留守に米を炊き握り飯を作ると、髪をほどいて頭のとっぺんの大きな口から食べてしまいました。女の正体が鬼婆だったことを知った男は、鬼婆にとらえられ……。赤羽末吉の絵によるスリリングな昔話の絵本。
『福音館書店 HP より』



やみに光る赤い目

出版社: 評論社、マイケル・モーパーゴ/作 トニー・ロス/絵

いとこのジュラルディン、何でもできて、とってもいい子。みんなあの子がすき。犬のビンゴまで。だけどあたしは、ばからしくて、うんざりよ。あーんなすましやのチビガエル。あの子をこまらせようと、ある計画がひらめいた。ちょっぴりこわくて、すごーくゆかいな物語。
『評論社 HP より』



ピーターラビットのおはなし

出版社: 福音館書店、ビアトリクス・ポター/作・絵

いたずら好きのピーターは、お母さんのいっつけを守らずに、マグレガーさんの畑に忍びこみます。レタスにさやいんげん、はつかだいこんを食べて、パセリをさがそうとしたそのとき、ぼったりマグレガーさんと出くわします! 「どろぼうだ!」追いかけてまわされたピーターは新しい上着を脱ぎ捨てて、命からがら逃げ出します……。100年以上前から世界中の子どもたちに愛され続けているピーターラビットの絵本シリーズの第1作です。
『福音館書店 HP より』



まんじゅうこわい

出版社: クレヨンハウス、川端誠/作

町内のわかいもんがあつまって、それぞれじぶんのきれいな「いきもの」をいいあうことになりました。「へびが、きれいだねえ」「おれは、たぬきだ。」「おれは、くもが、きれいだねえ。」と、みんなが、ひろうした最後に、松つあんは「まんじゅう」がこわいといひだします。人をくった松つあんのちゃっかりぶりは、何度読んでも笑えます。落語の魅力がたっぷりつまった1冊。
『クレヨンハウス HP より』



モチモチの木

出版社: 岩崎書店、斎藤隆介/作、滝平二郎/絵

豆太は、夜中にひとりでおしっこにもいけない弱虫。でも、大好きなじさまのために…。真の勇気とは何かを問いかける感動の絵本。
『岩崎書店 HP より』

